

2016年12月期

第3四半期決算説明会

GMO MEDIA

STOCK CODE : 6180

代表取締役社長 森 輝幸

常務取締役 石橋 正剛

2016年10月27日

- 1. 結論と要約**
- 2. 第3四半期決算概要**
- 3. メディア事業 取組状況**
- 4. Appendix**

- 1. 結論と要約**
2. 第3四半期決算概要
3. メディア事業 取組状況
4. Appendix

2016業績（1-9月）

2Qに続き、3Qも堅調に推移

売上高 前年同期比	4,039百万円 48.5%増
営業利益 前年同期比	414百万円 24.9%増

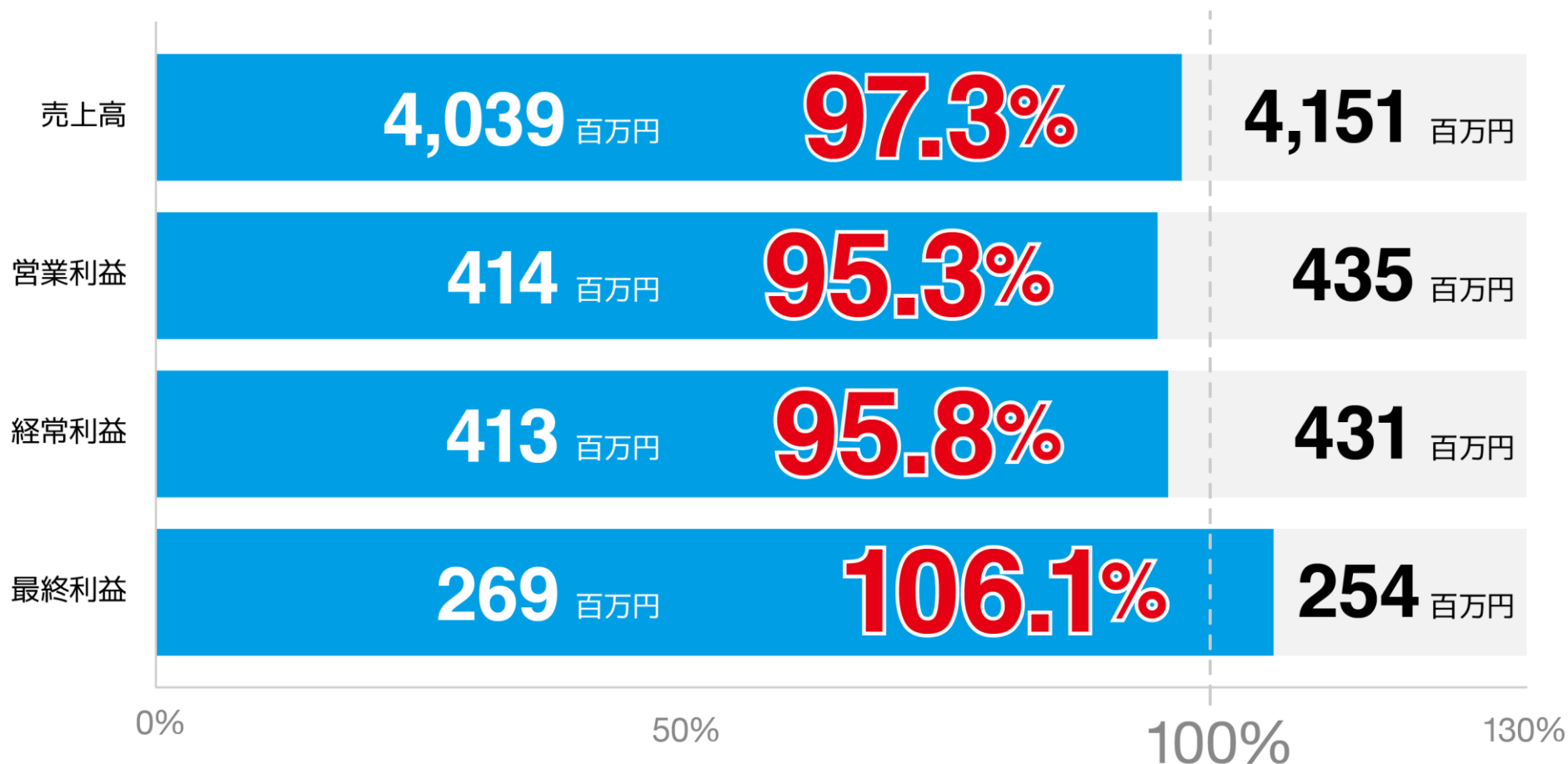
対前年同期比成長

売上高48.5%増、営業利益24.9%増

単位：百万円	2015 1-9 月	2016 1-9 月	前年同期比
売上高	2,719	4,039	+48.5%
営業利益	332	414	+24.9%
経常利益	322	413	+28.1%
最終利益	208	269	+29.2%

対業績予想進捗

売上高、各利益共、順調に推移



2016年12月期 業績予想

ECメディア、その他メディア支援事業が好業績を維持。業績予想を上方修正。

単位：百万円	2015	2016 (2/4 時点予想)	2016 (新予想)	前期比成長率
				2015-2016
売上高	3,855	4,151	5,000	+29.7%
営業利益	383	435	450	+17.3%
経常利益	365	431	448	+22.5%
当期純利益	205	254	263	+28.6%

1. 結論と要約
- 2. 第3四半期決算概要**
3. メディア事業 取組状況
4. Appendix

損益計算書

売上高・各利益が増加するも、原価率の向上により、売上総利益率、営業利益率は低下

単位：百万円	2015年 3Q 7-9 月	2016年 3Q 7-9 月	前年同期比	増減要因
売上高	923	1,370	+48.5%	【売上高】 メディア事業 +220 百万 (30.3% 増) その他メディア支援事業 +226 百万 (116.2% 増)
売上原価	528	888	+67.9%	
売上総利益	394	482	+22.4%	【営業費用】 売上変動費 (収益シェア) メディア事業 +30 百万 (37.9% 増) その他メディア支援事業 +168 百万 (105.2% 増) 販売促進費 (主にポイント費用)+136 百万 人件費+50 百万 業務委託・外注費 +30 百万
販売費及び 一般管理費	293	364	+24.1%	
営業利益	101	118	+17.4%	
営業利益率	11.0%	8.7%	▲2.3pt	
経常利益	91	117	+28.9%	
当期純利益	56	76	+34.7%	

貸借対照表

aima事業譲受や、オフィスへの設備投資等で、固定資産が120百万円増加

単位：百万円	2015年 9 月末	2016年 9 月末	前年同期比	増減要因
流動資産	1,681	3,424	+103.7%	現金預金増加 +1,326 百万 営業債権 +330 百万 繰延税金資産 +45 百万
うち現金預金 関係会社預け金含む	898	2,225	+147.6%	
固定資産	225	344	+52.9%	インフラ投資 +47 百万 オフィス設備投資 +19 百万 長期貸付金 +15 百万 投資有価証券 +14 百万 のれん(aima 事業) +20 百万
総資産	1,906	3,768	+97.7%	
流動負債	866	1,345	+55.2%	営業債務 +241 百万 ポイント引当金 +126 百万 未払法人税等 +51 百万
うちポイント 引当金	283	409	+44.6%	
固定負債	118	154	+30.3%	インフラ投資による 長期リース債務 +34 百万
純資産	921	2,268	+146.3%	新規上場による 増資 +1,175 百万
純資産比率	48.3%	60.2%	+11.9pt	
負債及び純資産	1,906	3,768	+97.7%	

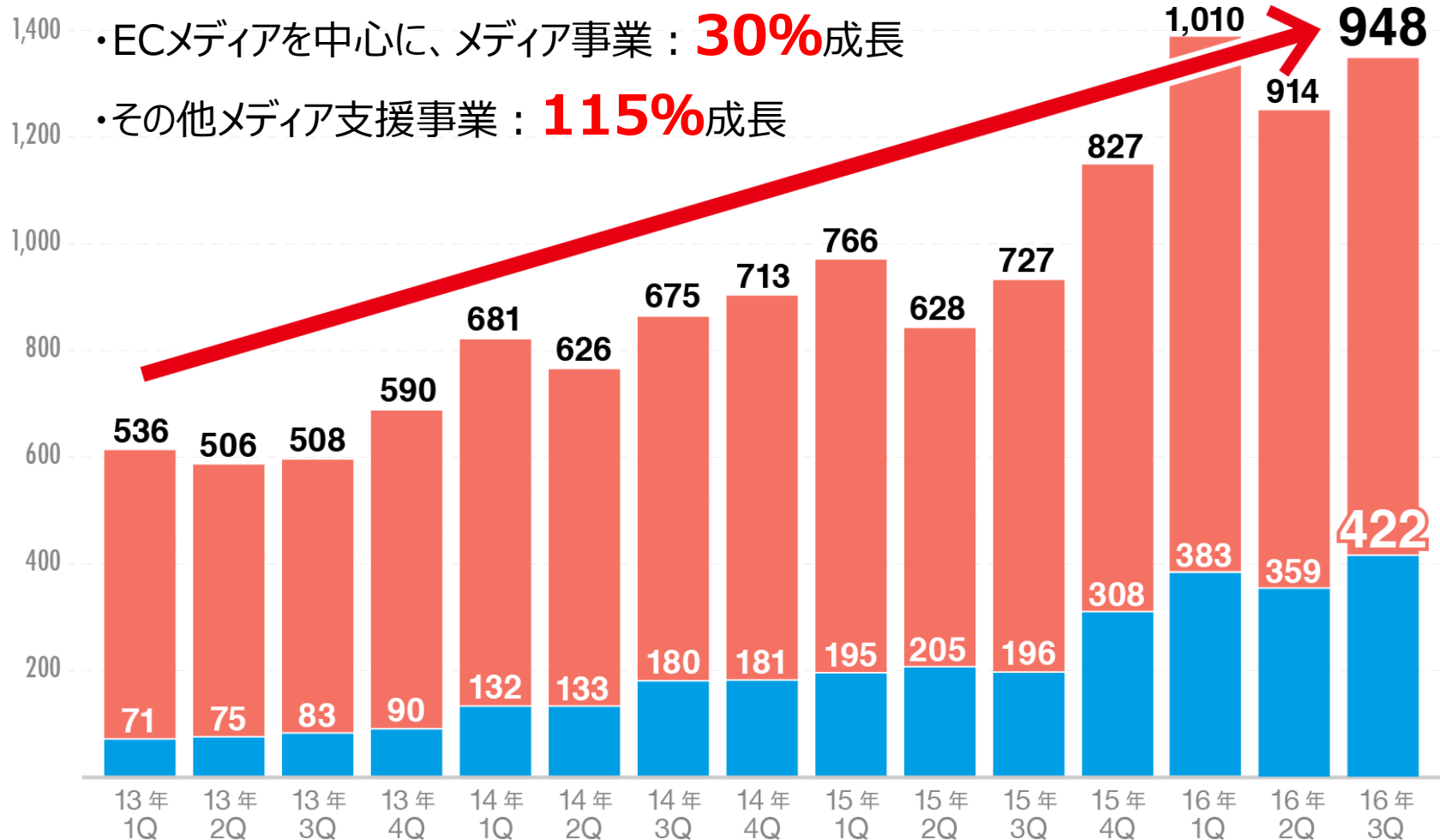
キャッシュフロー計算書

営業活動によるキャッシュフローは145百万円（対前年78百万円増）

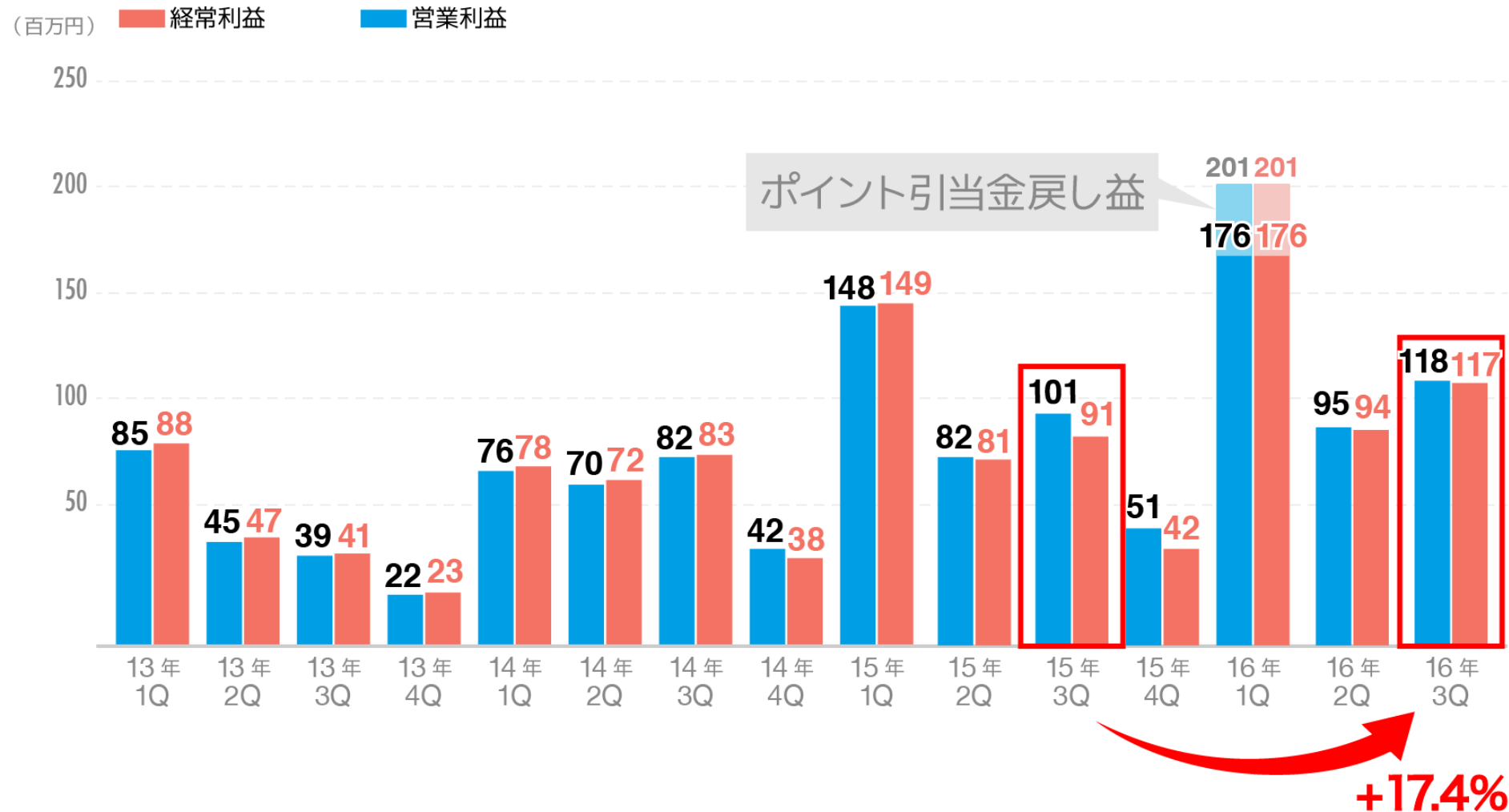
単位：百万円	2015年 7-9 月 (参考情報)	2016年 7-9 月 (参考情報)	前年同期比 (参考情報)	増減要因
営業活動による キャッシュフロー	66	145	+78	【営業活動 CF】 営業収支額の増加 97 百万 法人税等の支払い増加 +19 百万
投資活動による キャッシュフロー	18	▲66	▲84	
財務活動による キャッシュフロー	▲14	▲17	▲3	【投資活動 CF】 オフィス設備投資 20 百万 長期貸付金 6 百万 aima 事業譲受 30 百万
現金及び現金 同等物の増減額	70	61	▲9	
現金及び現金 同等物の期首残高	828	2,164	+1,335	昨年10月新規上場による 資金調達 +1,175 百万
現金及び現金 同等物の期末残高	898	2,225	+1,326	

セグメント別売上高推移

(百万円) ■ メディア事業 ■ その他メディア支援

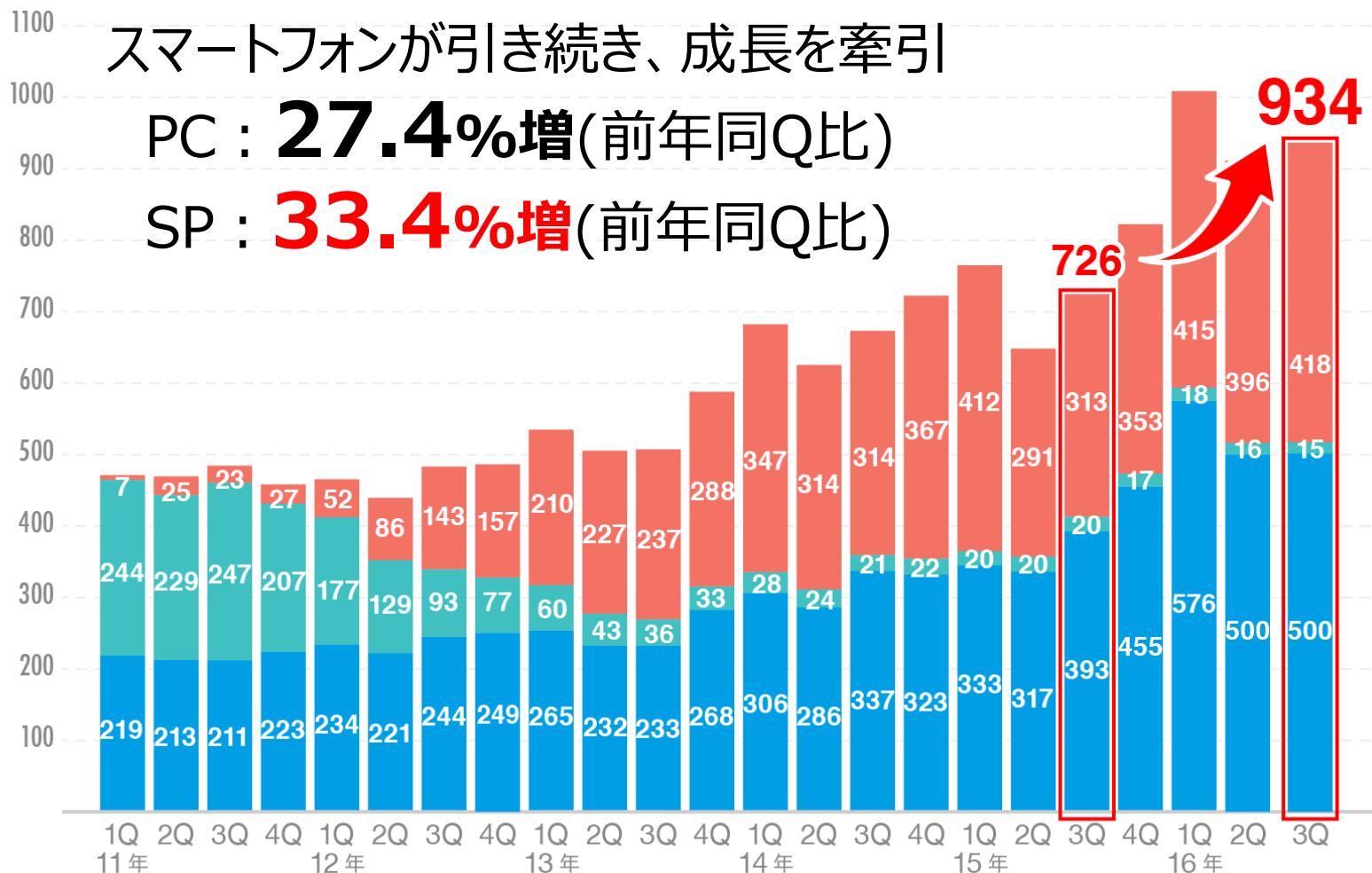


営業利益・経常利益推移



メディア事業 デバイス別売上高推移

(百万円) SP MO PC

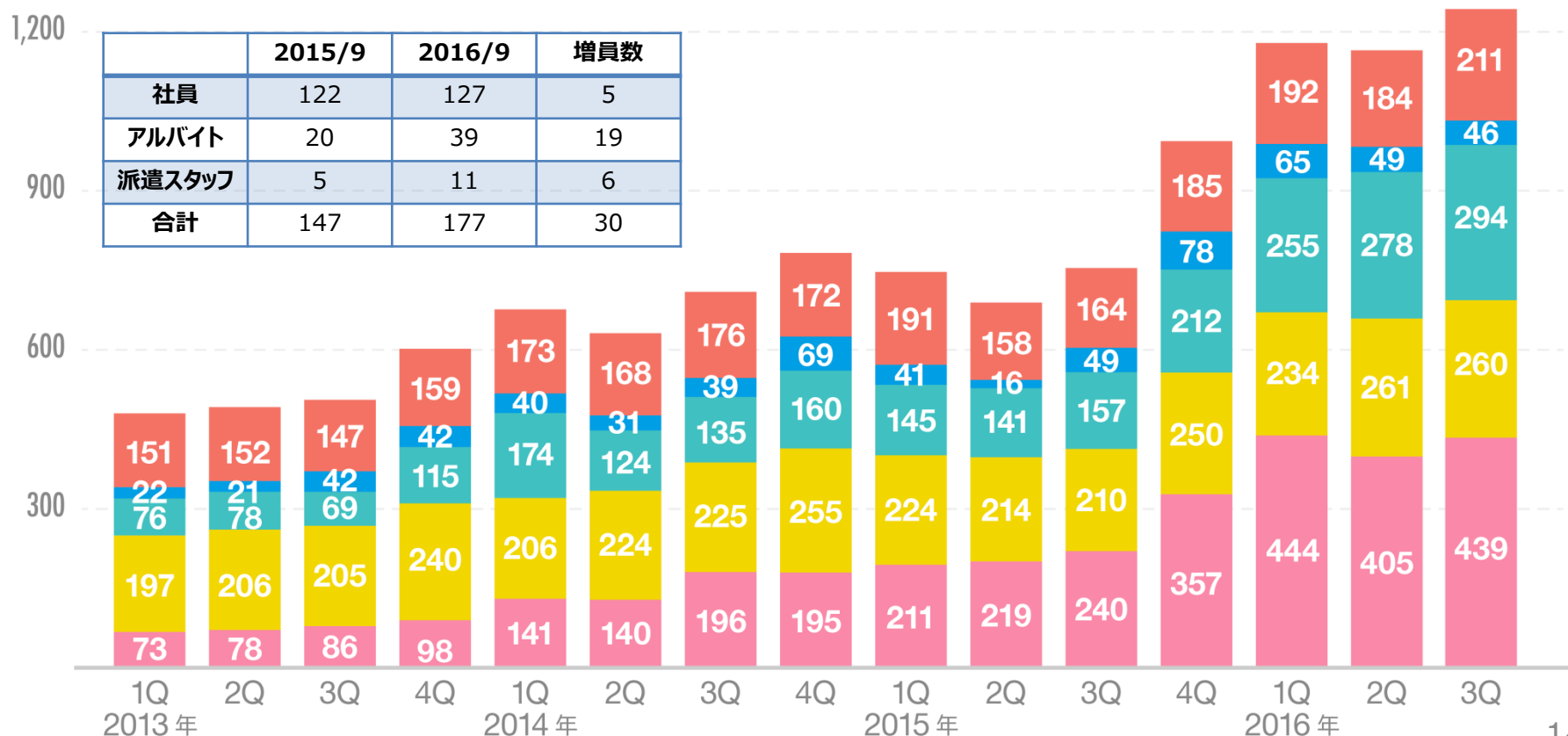


営業費用推移

対前年同Q比+430百万、売上変動費(収益シェア)+ 198百万、販促費(主にポイント費用)+136百万

主に、販促費は、『ECメディア事業』、売上変動費は『その他メディア支援事業』等の成長に連動

(百万円) ■ その他 ■ 広告宣伝費 ■ 販売促進費 ■ 人件費 ■ 売上変動費



1. 結論と要約
2. 第3四半期決算概要
3. **メディア事業 取組状況**
4. Appendix

1. ECメディア

スマホ強化

EC連携強化

aima事業強化報告



2. ソーシャルメディア

メディア連携強化

『買える』機能強化

メッセージー連携

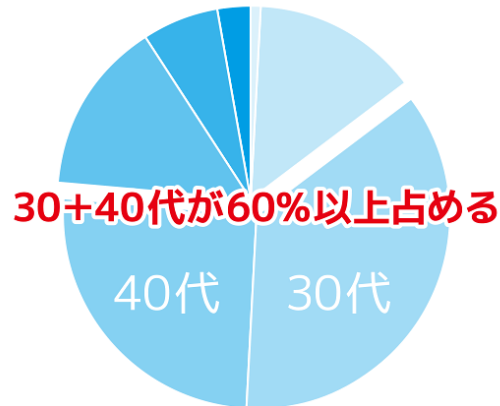


ECメディア –スマートフォンユーザー獲得強化

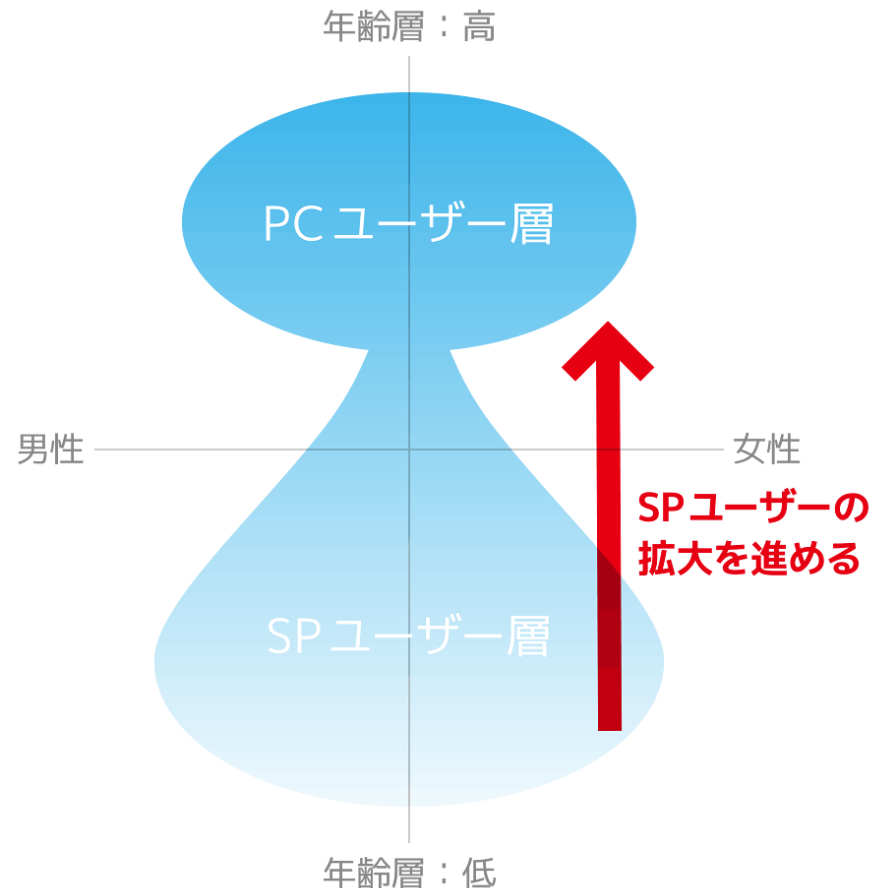
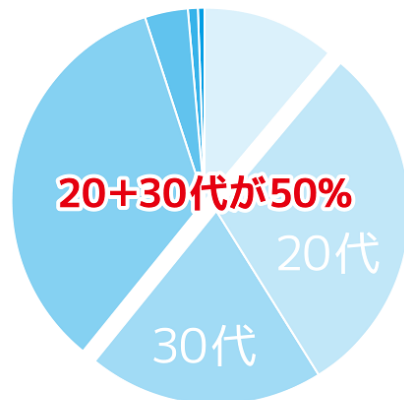


スマホ会員は30代までで61%を占める

PC 年齢構成比



SP 年齢構成比



ECメディア –スマートフォンユーザー獲得強化

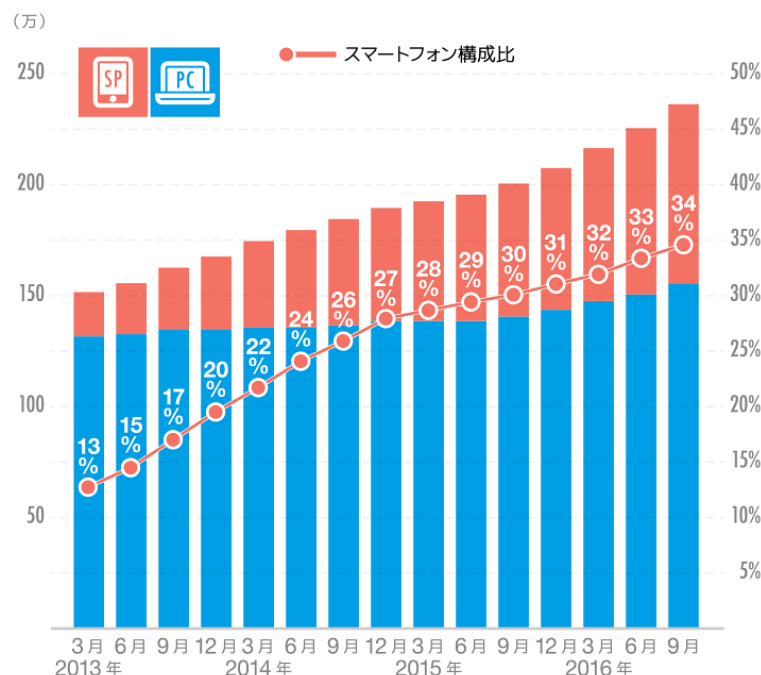


スマートフォンを引き続き強化

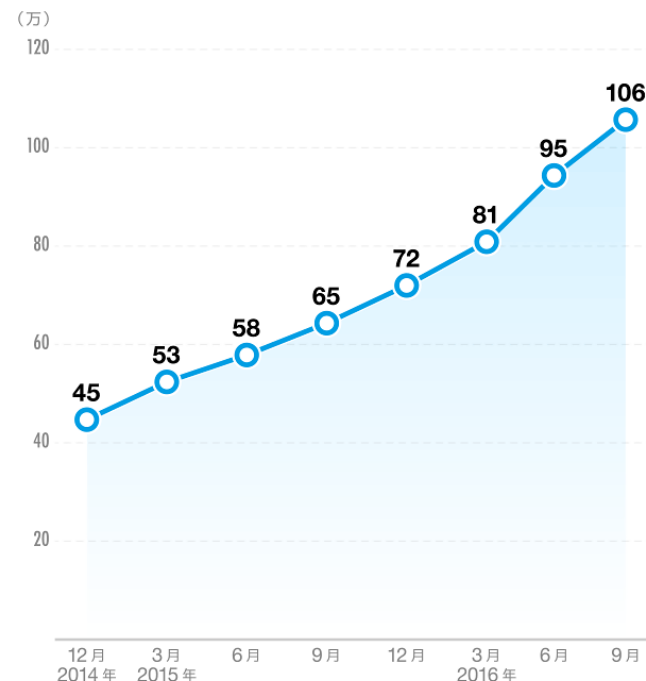
スマートフォン会員構成比： **34%まで伸長**

アプリDL数前年同月比： **164%**

ポイントタウン会員数



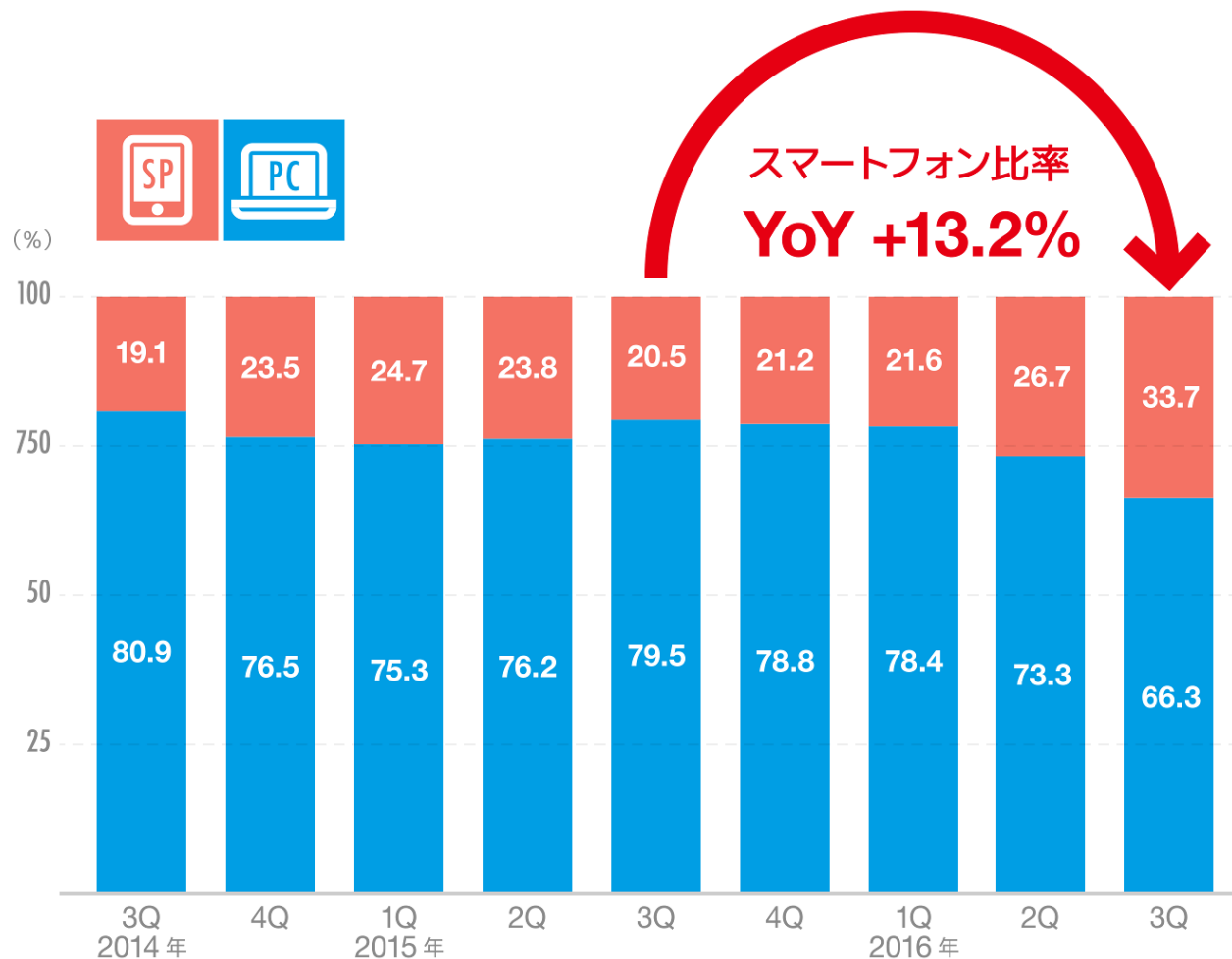
ポイントタウンアプリダウンロード数



ECメディア –スマートフォンユーザー獲得強化



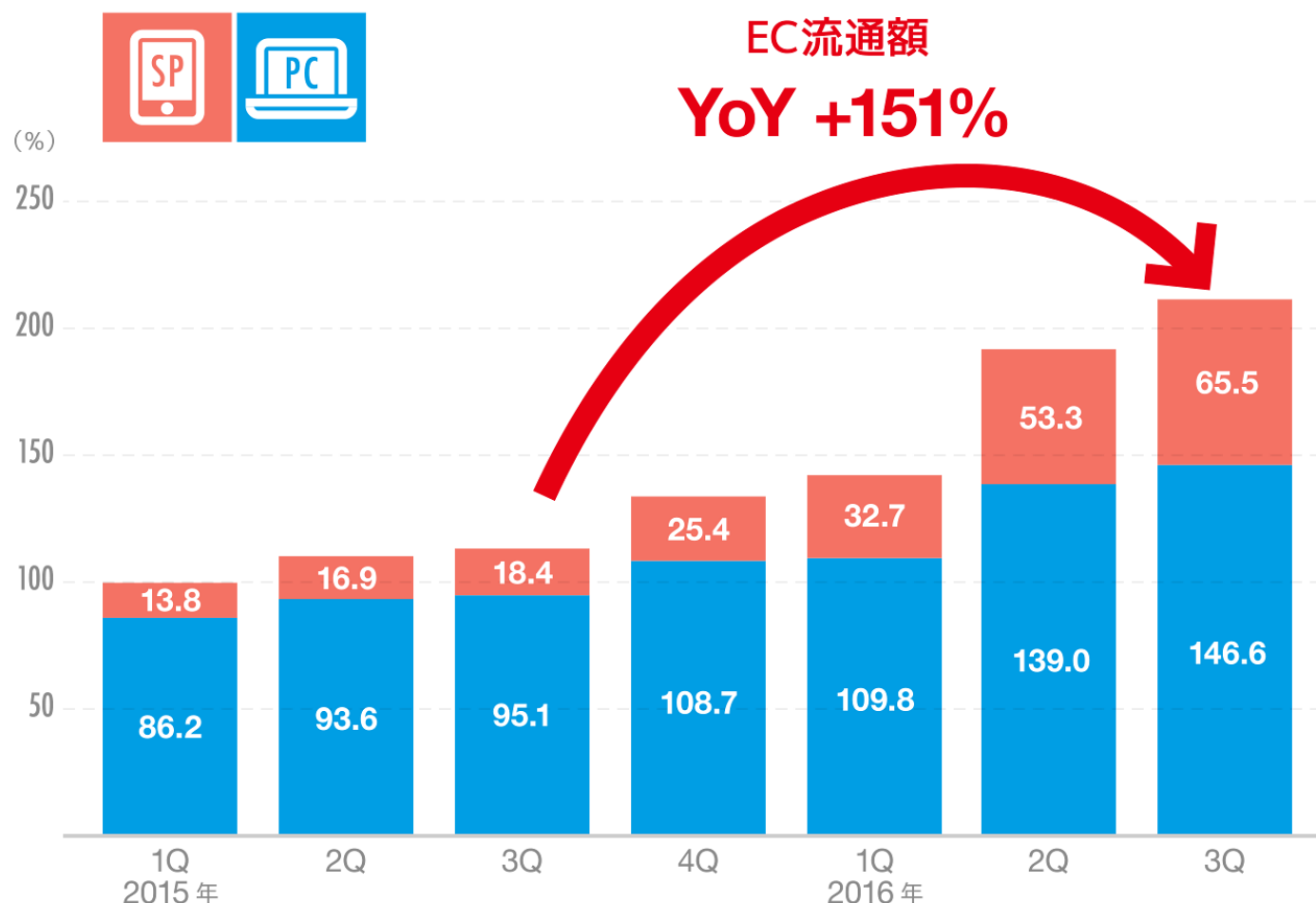
ポイントタウン デバイス別売上構成比（会員構成比とほぼ類似）



ECメディア -EC連携強化



四半期毎EC流通額推移(2015年1Qを100として比較)

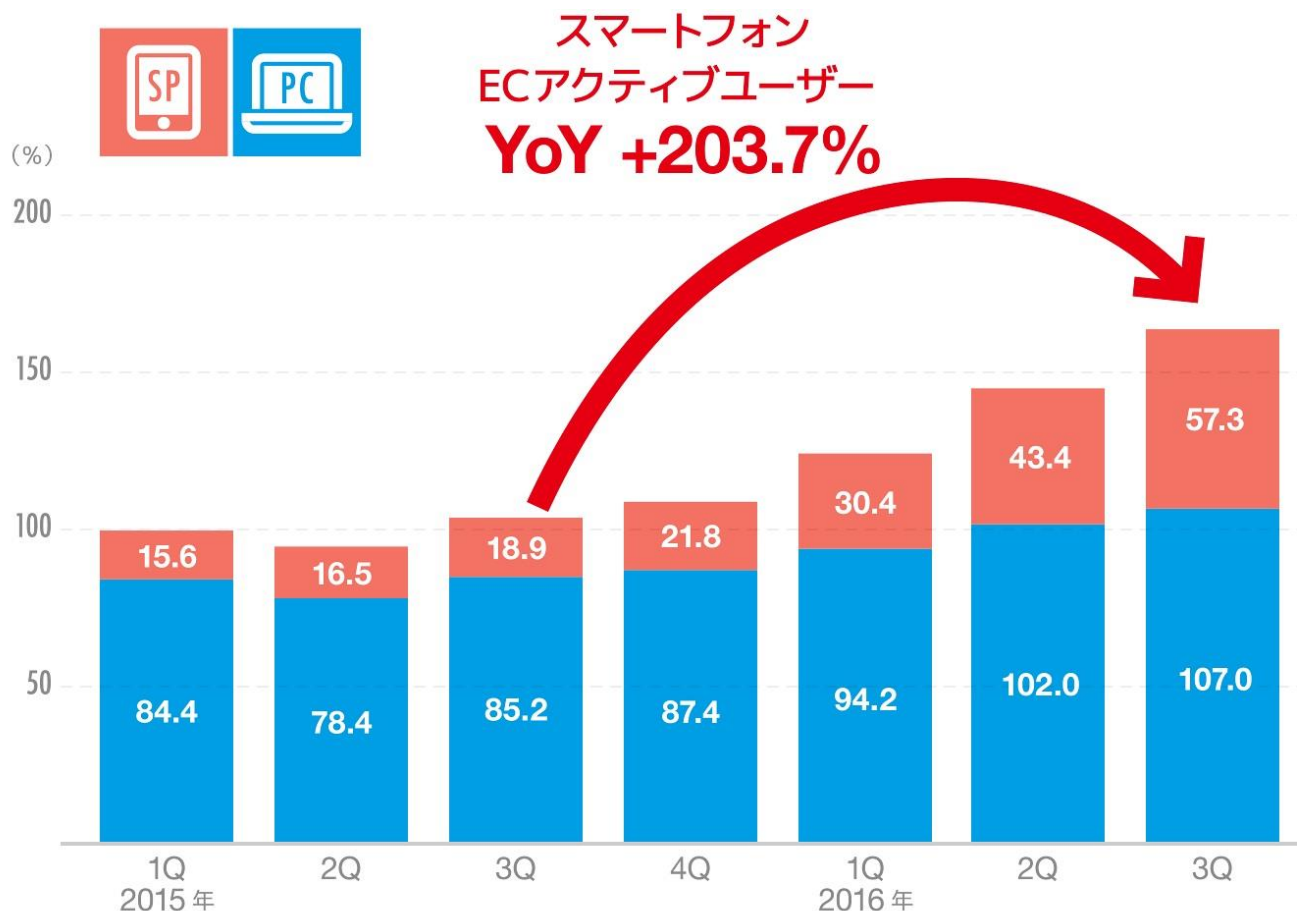


※2015年1Qを基準とした時の表示

ECメディア -EC連携強化



四半期毎ECアクティブユーザー数推移(2015年1Qを100として比較)



※2015年1Qを基準とした時の表示

aima（アイマ）事業譲受進捗報告

aima × ゲソてん by GMO プロジェクト進捗

ゲソてん人気コンテンツ投入
シナジー創出・売上拡大へ



CoordiSnap - 『メディア』機能強化

CoordiSnap_{by GMO}

ベーシック展開

投稿



自分のコーディネートを投稿



参考



投稿されたものを参考に、
コーディネート



外部強化

新規ユーザーの獲得 + 広告収入獲得

既存の提携先一覧



dmenu



goo

+

新規の提携先一覧



Gunosy 9/29



モデルプレス 9/6

CoordiSnap - 『EC』機能強化

CoordiSnap by GMO

ベーシック展開

投稿

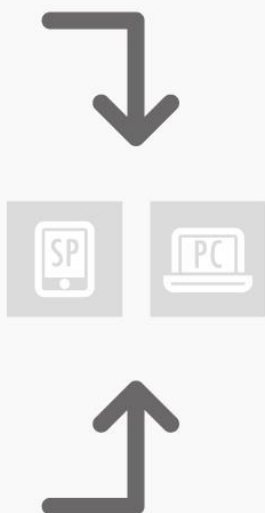


自分のコーディネートを投稿

参考



投稿されたものを参考に、
コーディネート



EC連携パートナー拡大中

公式ブランド数 **100** 突破！

新規の公式ブランド

<i>Ungrid</i>	The Dayz tokyo	RESEXY	GYDA	FLOVE
PAMEO POSE	MERCURYDUO	MURUA	LAGUNAMOON	merry Jenny
EMODA	jouetie®	EATME	EVRIS	<i>dazzlin</i>

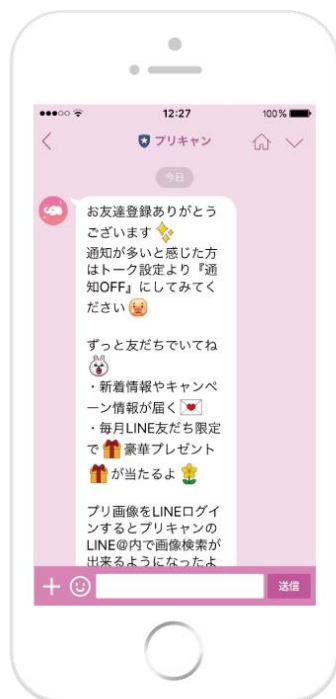
ソーシャルメディア – メッセンジャー連携



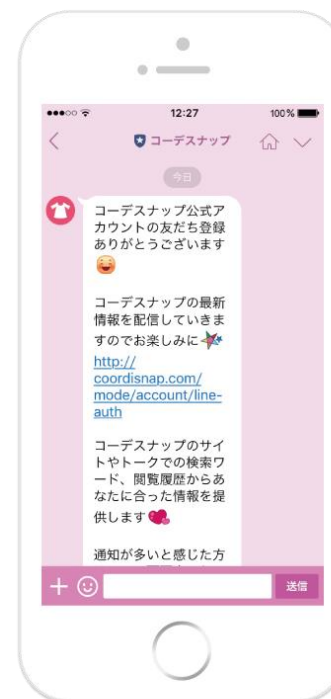
10月25よりLINE「Official Web App」に2サービスがパートナーとして参画（初期29サービス中）

LINEアカウント上で画像検索など一部サービスを提供しユーザーの利便性を向上！

prican
by GMO



CoordiSnap by GMO



御礼)

**皆様のご支援とご指導のお陰で、
上場から1年を迎えさせていただきました。
まだまだ、厚いご期待に
応えられてはおりませんが、引き続き
事業の拡大・成長に尽力してまいります。**

1. 結論と要約
2. 第3四半期決算概要
3. メディア事業 取組状況
4. **Appendix**

テクノロジー企業成長率ランキング（2016年10月19日）

第14回

「デロイト トウシュ トーマツ リミテッド
日本テクノロジー Fast50」

43位（56.55%成長）
に認定されました。



損益計算書

単位：百万円	2015-3Q	2015-4Q	2016-1Q	2016-2Q	2016-3Q	前年同期比	前Q比
売上高	923	1,135	1,393	1,274	1,370	+447	+96
売上原価	528	712	838	808	888	+359	+79
売上総利益	394	423	555	465	482	+88	+16
売上総利益率	42.7%	37.2%	39.8%	36.5%	35.2%	▲7.5pt	▲1.3pt
営業利益	101	51	201	95	118	+17	+23
営業利益率	10.9%	4.5%	14.4%	7.4%	8.7%	▲2.3pt	+1.2pt
経常利益	91	42	201	94	117	+26	+23
当期純利益	56	-3	132	60	76	+19	+16

貸借対照表

単位：百万円	2015-3Q	2015-4Q	2016-1Q	2016-2Q	2016-3Q	前年同期比	前Q比
流動資産	1,681	3,113	3,268	3,314	3,424	+1,743	+110
うち現金預金	898	2,096	2,044	2,164	2,225	+1,326	+61
固定資産	225	209	238	266	344	+119	+77
総資産	1,906	3,322	3,507	3,580	3,768	+1,862	+187
流動負債	866	1,112	1,233	1,255	1,345	+478	+89
うちポイント引当金	283	312	338	370	409	+126	+39
固定負債	118	116	142	132	154	+35	+21
純資産	921	2,093	2,131	2,192	2,268	+1,347	+76
純資産比率	48.3%	63.0%	60.8%	61.2%	61.2%	+11.9pt	▲1.0pt
負債及び純資産	1,906	3,322	3,507	3,580	3,768	+1,862	+187

配当予想

基本方針

事業の継続的な成長のための投資を重視しながら、事業の成長に基づく中長期的な株式価値の向上とともに、利益還元として配当を行っていく

	年間配当金	配当金総額	配当性向	純資産配当率
2014年 12月期	5,370円	68百万円	46.5%	8.7%
2015年 12月期	54円	93百万円	35.5%	5.9%
2016年 12月期 (予想)	76円	-	-	-

配当性向50%以上を基本方針として、業績に連動して配当を実施致します

会社概要

会社名	GMOメディア株式会社（GMO MEDIA Inc.）
設立年月日	2000年10月13日
資本金	7億6,197万円
事業内容	メディア事業、その他メディア支援事業
従業員数	127名（2016年9月30日現在 役員、臨時従業員除く）

40%
その他

営業系、カスタマーサポート、
総務・管理系

10%
デザイナー

職種構成比

50%
エンジニア

※2016年9月30日現在（役員、臨時従業員除く）

What is GMO Media?

多ブランド

出版社が雑誌を発行するように、多ブランドにてサービスを展開

コンテンツプラットフォーム

記者やライターを擁さず、コンテンツを流通させるプラットフォームを構築し、そのプラットフォームへ集客

B2Cメディア(広告)ビジネス

一般消費者に、広告収入をベースに、無料でサービス提供

沿革（法人）

GMOインターネットグループのメディア事業統合により、業容を拡大

	沿 革	会社名
創業期	2000 年 10 月 イスラエルネットベンチャーと電通グループ・ソフトバンクグループの合併により、東京都中央区に設立	2000 年 10 月 アイウェブ・テクノロジー・ジャパン株式会社
	2001 年 7 月 グローバルメディアオンライン株式会社 （現GMOインターネット株式会社）資本参加	2002 年 5 月 ユーキャストコミュニケーションズ株式会社
	2002 年 5 月 本店の所在地を東京都渋谷区に移転	
GMO インターネット グループ内 再編期	2004 年 3 月 壁紙ドットコム株式会社と統合	2004 年 3 月 GMOモバイル アンドデスクトップ株式会社
	2005 年 5 月 GMOメディアアンドソリューションズ株式会社の メディア事業・EC 事業を統合	2005 年 5 月 GMOメディア株式会社
	2008 年 8 月 GMOメディアホールディングス株式会社から 「ヤプログ！」事業を会社分割により承継	
	2009 年 4 月 GMOティーカップ・コミュニケーション株式会社と統合	
現 在	スマートフォン強化による再成長	

事業領域と主要サービス

ポイントインセンティブによる【ECメディア】と一般ユーザーの情報発信をサポートする
 【ソーシャルメディア】を軸に、スマートフォン向けネイティブアプリとWEB（スマートフォン・パソコン）
 向けに多ブランドにて展開しており、ユーザーは無料で利用できます。

	ECメディア	ソーシャルメディア
 ネイティブ アプリ WEB		 CoordiSnap _{byGMO}  
 WEB		   

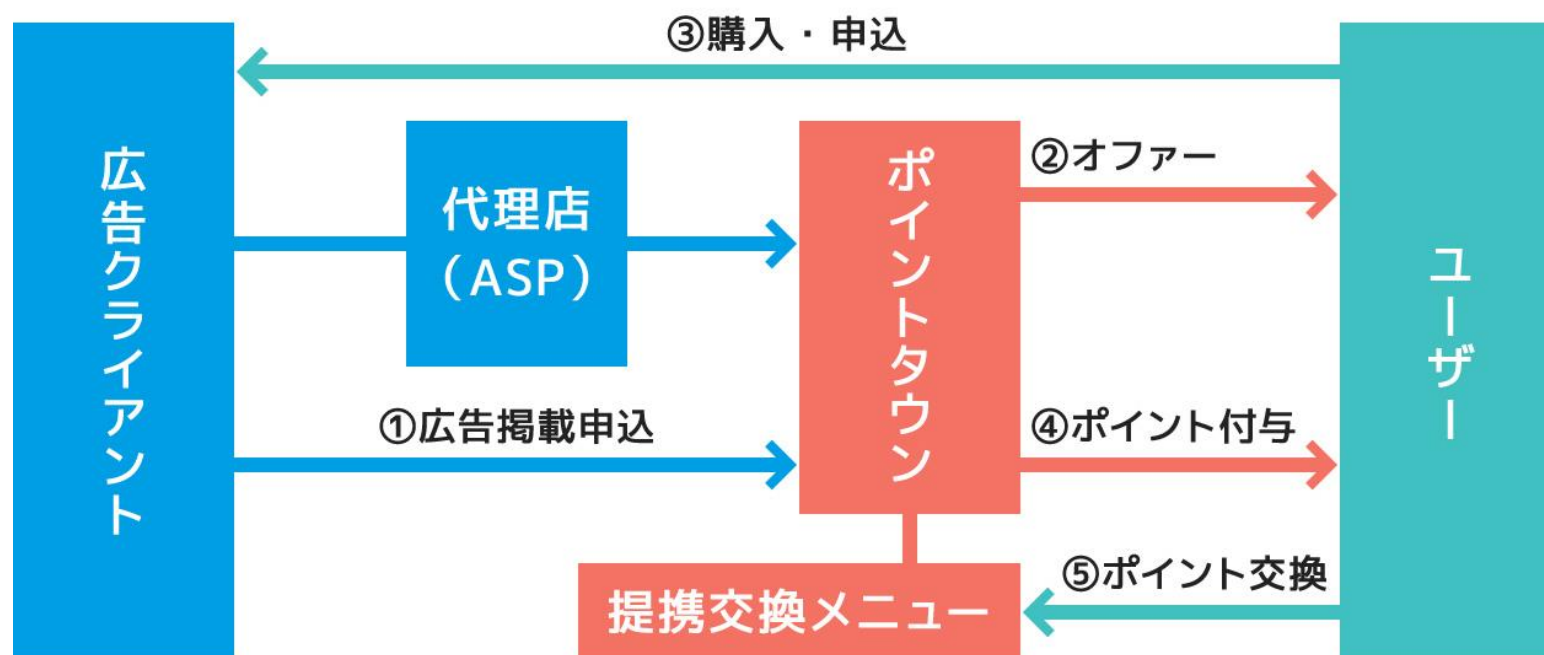
ECメディア ビジネスモデル

弊社はクライアントとユーザーの間に位置し、広告出稿したいクライアントから代理店（ASP）経由で案件をサイト内に掲載。広告費で頂く報酬の一部をユーザーにポイント還元。その差分を利益とする。

※ASP = Affiliate Service Provider) とは、成功報酬型広告を配信するサービス・プロバイダ

インターネット上で完結できるクライアント全てが対象となり、ECから無料会員登録、クレジットカード発行など豊富な案件を適宜ユーザーに提供しポイントを貯める。

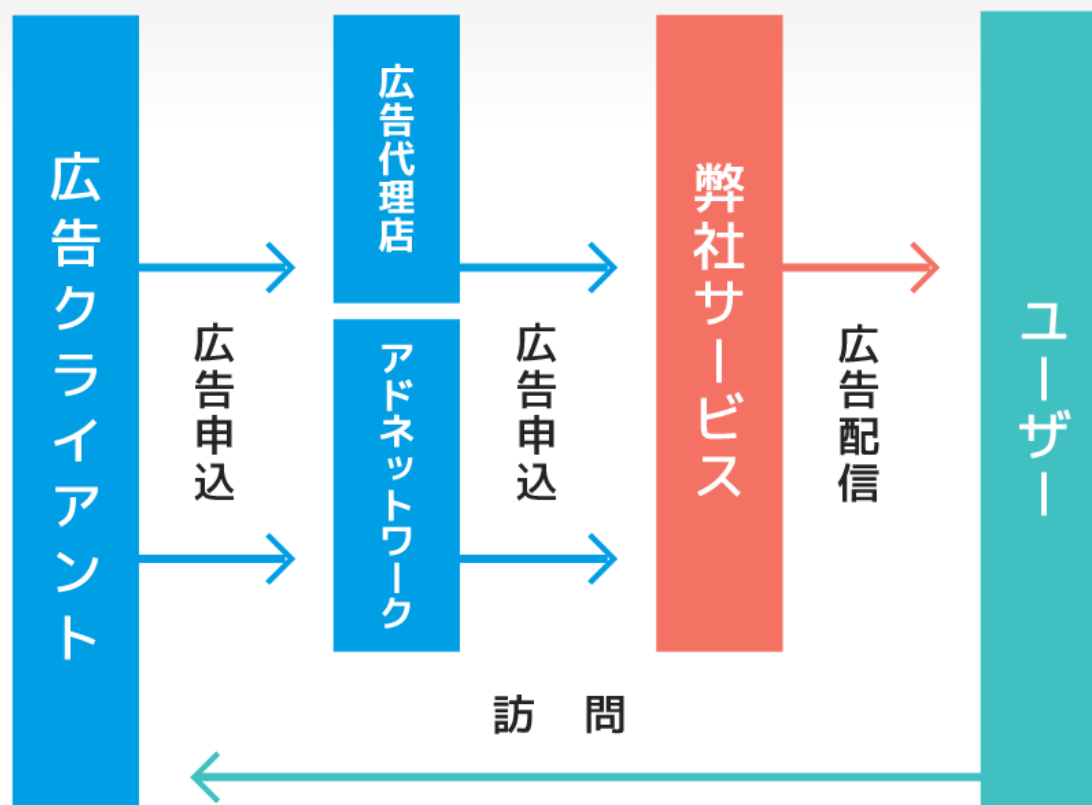
ユーザーはそのポイントを現金及び国内の主要ポイント、マイルージなど様々なメニューに交換することができる。



ソーシャルメディア ビジネスモデル

広告収入

弊社サービスの広告枠に、アドネットワーク / 広告代理店からの広告を掲載し
その掲載やクリックに応じた広告収入。



GMO MEDIA

本資料には、2016年10月27日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等 にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれており、調査機関によって異なる可能性があります。

本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。

当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。